


（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和5年 6月 30日	
茨城県知事 殿	提出者
	住 所 茨城県つくば市筑穂1-7-1
	氏 名 大林道路株式会社 茨城営業所
	所 長 松 田 光 弘
	（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
	電話番号 029-864-2474
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大林道路株式会社 茨城営業所
事業場の所在地	茨城県つくば市筑穂1-7-1
計画期間	令和5年 4月 1日 から 令和6年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	1,150,943千円
③従業員数	13人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場 → 産業廃棄物収集運搬業者 → 産業廃棄物処理業者 〈委託〉 〈委託〉

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本店 安全・品質環境部 → 関東支店 安全・品質環境部 → 茨城営業所 所長 <div style="text-align: center;">↓ 現場担当者</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・工事に伴い発生した産業廃棄物については、現場にて分別を行い再利用を前提として委託した。		
②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・前年度同様引き続き再利用に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・木くず等 廃棄物を種類ごとに分ける。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引き続き廃棄物を可能な限り種類ごとに分別する。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ 令和4年度）実績】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

※単位はトン(t)で換算し、小数点第1位まで記載願います。

分類		種類	コード	2022年度発生量(t)	自ら行う再生利用に関する量	自ら行う中間処置に関する量	自ら行う廃止処分又は海洋投棄に関する量	産業廃棄物の処理の委託に要する量	2023年度目標(t)	建設廃棄物の主な具体例	
産業廃棄物	安定型産業廃棄物	がれき類									
		コンクリート塊	1501	307.0				307.0	300.0	コンクリート破片	
		アスファルト・コンクリート塊	1502	1,223.3				1,223.3	1,200.0	アスファルト・コンクリート破片	
		その他のがれき類	1500	1.1				1.1	1.0	ブロック破片、レンガ、モルタルくず、瓦くず	
		石綿含有産業廃棄物	2440							石綿含有スレート板	
		廃プラスチック類	0660	0.9				0.9	1.0	廃発泡スチロール等梱包材、廃ビニール、廃シート類、廃合成ゴム	
		石綿含有産業廃棄物	2430							石綿含有ビニル床タイル	
		金属くず	1200							鉄骨鉄筋くず、金属加工くず、足場パイプ、保安帯くず	
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1300							ガラスくず、タイル衛生陶磁器くず、耐火れんがくず	
		石綿含有産業廃棄物								(注)廃石膏ボードは管理型産業廃棄物	
		建設混合廃棄物(安定型)	2420							石綿含有ケイ酸カルシウム板	
		(安定型と管理型のコード番号は同じ。)	2000	15.2				15.2	15.0	発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含まないもの	
	石綿含有産業廃棄物	2410							石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(安定型)		
	安定型産業廃棄物以外の産業廃棄物	汚泥		0200	245.5			245.5	245.0	含水率が高く粒子の微細な泥上の掘削物 掘削物を標準仕様ダンプトラックに山積みができず、またその上を人が歩けない状態(コーン指数がおおむね200kN/㎡以下)。具体的には、場所打杭工法、泥水シールド工法等で生じる廃泥水。	
		木くず		0800	546.1			546.1	546.0	工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる木くず(具体的には型枠、足場材等、内装・建具工事等の残材、木造解体材等)	
		紙くず		0700						工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる紙くず(具体的には包装材、段ボール、壁紙くず)	
		繊維くず (※天然繊維のみ)		0900						工作物の新築、改築又は除去に伴って生ずる天然繊維くず(具体的には畳、天然繊維系廃ウエス、縄、ロープ類)	
		ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず		1300						廃石膏ボード	
		石綿含有産業廃棄物		2420						石綿含有廃石膏ボード	
		建設混合廃棄物(管理型) (安定型と管理型のコード番号は同じ。)		2000	98.2			98.2	97.0	発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物で安定型産業廃棄物以外の廃棄物(木くず、紙くず、繊維くず、石膏ボード等)を含むもの	
		石綿含有産業廃棄物		2410						石綿含有の発生段階から一体不可分の混合建設廃棄物(管理型)	
		燃え殻		0100						燃え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含むもの)	
		廃油		0300	3.0			3.0	2.0	防水アスファルト、アスファルト乳剤等の使用残さ	
		廃酸		0400						硫酸、塩酸、各種の有機廃酸類など、全ての酸性液体	
		廃アルカリ		0500						廃ソーダ液、金属せっけん液など、すべてのアルカリ性廃液	
		特別管理産業廃棄物	廃石綿等		7421						吹付けアスベスト、石綿保温材(飛散性アスベスト廃棄物)
			廃油		7010						揮発油類、灯油類、軽油類(概ね引火点70℃以下)
			廃油		7425						廃油(基準を超える有害物質を含むもの)
			燃え殻		7424						燃え殻、焼却灰(基準を超える有害物質を含むもの)
			汚泥		7426						汚泥(基準を超える有害物質を含むもの)
				0.0	0.0	0.0	2,440.3	2,407.0			